

2023 年度 未来ファンドおうみ助成事業 募 集 案 内

応募メ切 2023 年 1 月 13 日（金） 17 時必着

未来ファンドおうみは、地域の課題解決に取り組む NPO や市民活動団体を支援します。



 未来ファンド
おうみ
淡海ネットワークセンター
(公益財団法人淡海文化振興財団)

目 次

1. 未来ファンドおうみとは	1
2. 募集内容	2
3. 応募手続き	5
4. 助成事業の留意事項	6
5. 各基金の説明	
① びわこ市民活動応援基金（地域活性化事業、先駆的事业）	9
② びわ湖の日基金	10
③ 積水化成品基金	10
④ 笑顔あふれるコープしが基金	11
⑤ ナカザワNEOフレンドシップ基金	11
⑥ げんさん食育NPO基金	12
⑦ 湖国文学活動応援むらさき基金	12
⑧ びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金①②	13

未来ファンドおうみ運営委員会（50音順 敬称略）

未来ファンドおうみ運営委員

井手 慎司	滋賀県立大学 教授
大平 正道	地域づくりアドバイザー
南 圭子	淡海ネットワークセンター事務局長

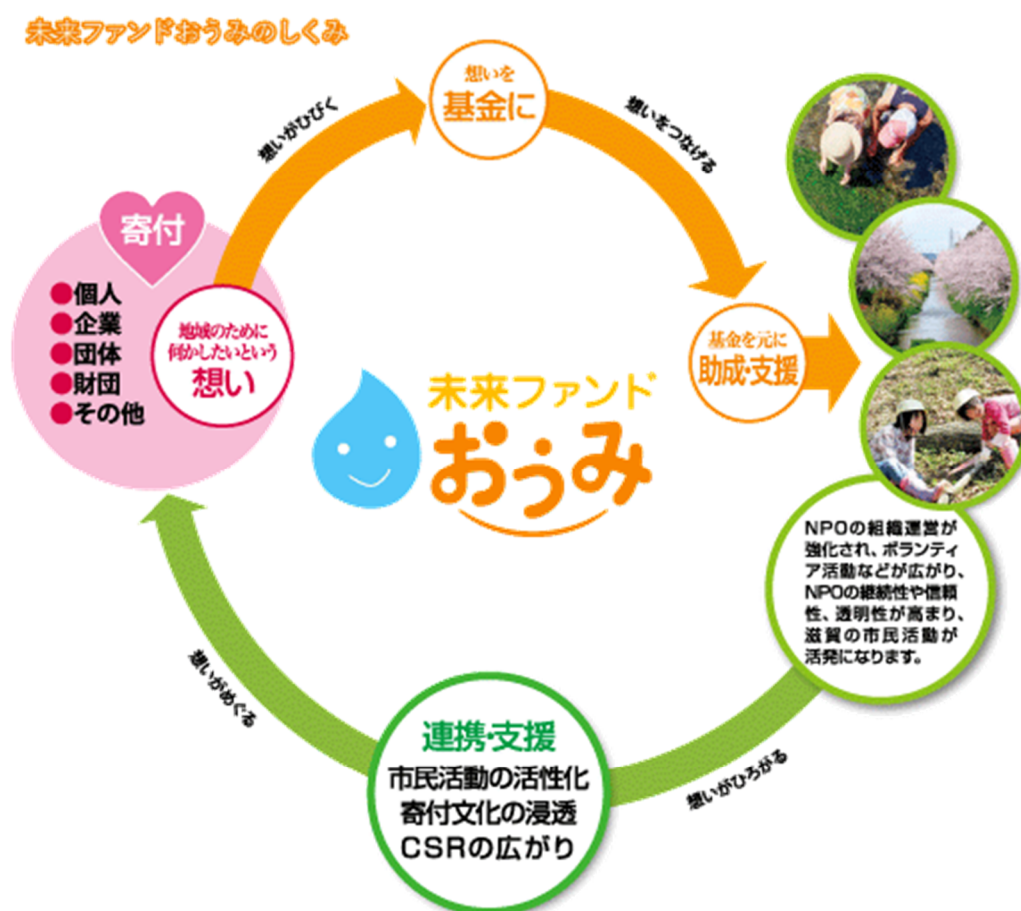
未来ファンドおうみ審査委員

遠藤 恵子	特定非営利活動法人まちづくりスポット大津 理事
岡田 啓子	おうみ未来塾9期生・団体職員
福井久美子	認定特定非営利活動法人NPOぽぽハウス 副理事長

1. 未来ファンドおうみとは

淡海ネットワークセンターは2011年4月の公益財団法人への移行を機会に、市民の想いを込めた寄付による市民活動支援の仕組みをつくるために、「未来ファンドおうみ」を創設しました。これまでに実施した助成は、293事業、のべ総額1億4千5百万円にのびります。

未来ファンドおうみは、みなさまから地域への「想い」を寄付としていただき、公益性、社会性、継続性の高い市民活動を実施する団体へ助成します。未来ファンドおうみは、おたがいさまがつながり、地域の誰もが支えあい、志が活きる地域社会を目指しています。



2. 募集内容

(1) 応募受付期間

2022年11月18日(金)～2023年1月13日(金) 17時必着

(2) 助成期間

2023年4月1日(金)～2024年3月31日(金)の1年間

(3) 応募対象者

次のすべてに該当する特定非営利活動法人(NPO法人)またはそれに準ずる団体(※)が応募できます。

1. 滋賀県内に活動拠点または事務所を有する団体
2. 継続的な活動が期待できる団体
3. 反社会的勢力でないこと、反社会的勢力と密接な交友関係を有しないこと、反社会的勢力に類する行為をしない団体

※ NPO法人に準ずる団体とは、定款、規約、会則等を持ち、組織として意思決定ができるものをいいます。

(4) 対象となる事業

次のすべてに該当し、かつ各基金の助成の趣旨に合致する事業を対象とします。

1. 不特定多数のものの利益の増進に寄与することを目的とする事業
2. 非営利の事業
3. 団体が自主的に取り組む事業
4. 次のいずれにも該当しない事業
 - ・宗教活動および政治活動
 - ・特定の公職者(候補者を含む)または政党を推薦、支持、反対することを目的とする事業

(5) 助成メニュー(基金)一覧

下記の基金の中から、申請事業に最も適した基金を選び、応募してください。

	基金名	対象となる活動	上限額	審査	詳細
1-1	びわこ市民活動 応援基金(地域 活性化事業)	地域活動全般 ・公益性の高い活動 ・地域の活性化につながる活動	30 万円	書類 +二次	p.9

	基金名	対象となる活動	上限額	審査	詳細
1-2	びわこ市民活動 応援基金 (先駆的事业)	独創的・先駆的な地域活動 ・地域社会の課題解決のための、「より独創的・ 先駆的な活動」または、そのような事業の実施を目的とした「組織力の強化のための活動」	100 万円 (注1)	書類 +二次	p.9
2	びわ湖の日基金	環境保全 ・琵琶湖等(河川や森林なども含む)の保全に関 わる実践活動や調査活動、環境学習活動	30 万円	書類 +二次	p.10
3	積水化成品基金	環境保全 ・年間をとおして継続的におこなわれる環境保全 活動(※甲賀市、湖南市、草津市、守山市、栗東市、野 洲市を含む湖南地域の活動が優先されます)	20 万円	書類 (注2)	p.10
4	笑顔あふれる コープしが基金	生活者支援 ・身近な問題への取り組みによって、私たちのより よい暮らしにつながる活動(高齢者の居場所づく り、見守り活動、子育てや食育など)(注3)	10 万円	書類	p.11
5	ナカザワNEO フレンドシップ基 金	多文化共生 ・多文化共生の地域づくりをめざした活動(「子ど も・教育」、「日本語学習支援」、「意識啓発・地域コミュ ニティづくり」など)	10 万円	書類	p.11
6	げんさん食育 NPO基金	障がい者支援 ・障がいのある子どもたちが健やかに成長してい くことを、食育などを通じて地域とともに応援してい く活動	10 万円	書類	p.12
7	湖国文学活動応 援むらさき基金	湖国文学活動 ・湖国に因む文学に関わる活動 ・湖国に根ざす文学的な活動	10 万円	書類	p.12
8	びわ湖源流の木 遣い応援もえぎ 基金①②	森の木の活用 ・びわ湖源流の森の木を主な対象にした取り組み (「新しい産物や製品の創出」、「木を使う仕組みづく り」、「木を使う大事さの啓発」、「地元の木を活かした 特色ある家づくり」、「地元の木の新しい活用方法の創 案」など) ※①②があり、②は原則、過去に①の助成を受けられた 団体のみが対象となります。	①10 万円 ②30 万円	① 書類 ② 書類 +二次	p.13

注1) びわこ市民活動応援基金(先駆的事业)については、対象経費の3/4以内の助成となります。

注2) 積水化成品基金は、二次審査を求める場合もあります。

注3) 笑顔あふれるコープしが基金は、始めたばかりの活動、またこれから始める活動を優先します。

(6) 選考方法

1. 選考は、未来ファンドおうみ運営委員会の審査によりおこないます。
2. 基金により、書類審査のみの基金と、一次審査（書類審査）と二次審査（公開プレゼンテーション）を実施する基金があります。
3. 申請内容について問い合わせをさせていただく場合があります。
4. 結果通知は、申請団体へ文書で通知します。

<選考の流れ>

募集締切	2023 年 1 月 13 日(金)
一次審査（書類審査）	2 月上旬
一次審査（書類審査）の結果通知	2 月中旬～下旬
二次審査（公開プレゼンテーション）	3 月 5 日(日) 午後
二次審査の結果通知	3 月中旬～下旬

(7) 選考基準

次の 6 項目を勘案して、総合的に判断します。

1. **事業の必要性・公益性**
社会や地域の課題・ニーズを的確に掴んで目的を設定していること。
2. **事業の地域信頼性**
地域に根ざし、地域の多様な人々の協力によって支えられている事業であること。
3. **事業の独創性・先駆性**
独創的・先駆的な事業、あるいは、従来から実施している内容に新しい視点や発想、手法が盛り込まれた事業であること。
4. **事業の実現可能性**
事業計画が具体的で実現性が高いこと。
5. **予算の妥当性**
事業予算が明瞭であること。
6. **事業の波及・発展性**
助成期間終了後の継続的な事業の展開、あるいは他団体や地域への波及効果が期待できること。

(8) 助成決定についての留意事項

運営委員会の審査により、助成額が申請額より減額される場合があります。また、申請した基金と異なる基金で採択される場合もあります。これらの場合については、申請団体に確認の後、助成を決定します。

3. 応募手続き

(1) 申請書の入手方法

淡海ネットワークセンターのホームページからダウンロードできます。
また、淡海ネットワークセンター事務所にも置いています。



こちらのQRからも可

(2) 説明会

裏表紙に記載している会場にて実施します。

また、淡海ネットワークセンター事務所で随時、相談（オンライン可）を受け付けています。期間は2022年11月18日～2023年1月11日までの開館日です。必ず電話での予約をお願いします。

(3) 応募書類

1. 申請書（様式第1号）

2. 添付書類（必須）

- ① 定款、規約、会則など、申請団体の組織運営がわかるもの。
- ② 役員名簿
- ③ 2021年度の事業報告書と決算書類、またはそれに準ずるもの
- ④ 2022年度の事業計画書と予算書、またはそれに準ずるもの

※「笑顔あふれるコープしが基金」と「びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金①」に申請する

2022年度に立ち上げたばかりの団体は、③は無くても結構です。

※「湖国文学活動応援むらさき基金」に申請する2022年度に立ち上げたばかりの団体は、③④は無くても結構です。

3. 添付書類（任意）

申請団体の活動がわかるパンフレット、ニュースレター、会報、写真など

(4) 応募受付期間

2022年11月18日（金）～2023年1月13日（金） 17時必着

(5) 応募に関する注意事項

- 1. 応募書類に不備がある場合は、選考対象となりません。
- 2. 応募書類は直接持参するか、配達記録の残る郵送方法（期限内必着）で送付してください。
FAX、E-mail による送付は受付できません。
- 3. 提出された応募書類や添付資料などはお返してきませんので、必要な場合はコピーをとっておい

てください。

4. 助成対象事業に関して他の助成団体や行政等に助成金等を申請している団体は、他の申請先の事務局および淡海ネットワークセンター事務局の双方に、助成事業のすみ分けについて確認をいたうえて、応募してください。

(6) 応募先(事務局)

淡海ネットワークセンター(公益財団法人 淡海文化振興財団) 助成担当宛
〒520-0801 大津市におの浜 1-1-20(ピアザ淡海 2F)
TEL:077-524-8440

4. 助成事業の留意事項

(1) 助成の対象となる経費

1. 助成の対象となる経費は、申請事業に直接、必要となる経費です。
2. 申請事業と直接関わりのない職員等の人件費、事務所の賃借料や水道光熱費、その他の維持経費は対象になりません。
3. 申請書様式の「申請事業 予算書」は、次の科目を使用して記入してください。

(直接経費)

科目	内容
旅費交通費	交通費、ガソリン代、駐車料など
通信運搬費	郵送料、物品の運搬費など
器具備品費	事業の実施に不可欠と認められる備品の購入代
消耗品費	事務用品、材料、資材の購入費など
印刷製本費	資料・チラシ・ポスターなどの印刷費
燃料費	機材を動かすための燃料費
保険料	活動のための保険料
委託費	専門家などへ委託する費用
諸謝金	講師・専門家・スタッフへの謝礼金
使用料・賃借料	会場・設備使用料・機材賃貸料
教育研修費	事業遂行に関わる研修費・書籍代など

※高額な備品や他の事業にも使用できるものについては、審査前に聞き取りを行います。

※「びわこ市民活動応援基金(先駆的事业)」以外の基金は、人件費は助成の対象外です。

びわこ市民活動応援基金(先駆的事业)のみ

人件費(※)	助成事業の実施に携わる事務局スタッフの人件費
--------	------------------------

※助成額の20%を上限とします。20%を超える部分は自己資金としてください。

※予算書の積算根拠の欄（申請書様式P7）に、人件費該当者名、作業内容、単価、日数などの積算内容を記載してください。積算内容が大幅に変更されたり、活動が申請時の計画内容とかけ離れた場合は、人件費に係る助成金の全部、または一部を返還していただく場合がありますので、十分ご留意ください。

(2) 助成割合

助成割合は、びわこ市民活動応援基金（先駆的事業）のみ 3/4 で、それ以外の基金は 10/10 です。今後の事業継続のためにも、事業収入や自己資金を組み入れた事業計画・事業予算にしてください。

(3) 助成事業採択後の流れ ※赤字については、必ず出席してください。

助成期間の始まり	2023 年 4 月 1 日より
↓	
※オリエンテーションへの参加	5 月 14 日(日) 予定
↓	
助成金の概算払請求手続き	5 月
↓	
※中間報告・相談会への参加	9 月～10 月 予定
↓	
助成期間の終了	2024 年 3 月 31 日まで
↓	
事業報告書等の提出	1 月または 4 月
↓	
※成果発表会への参加	5 月中旬 予定
↓	
助成金の精算払い	5 月末 頃

(4) 助成期間終了後の提出書類

助成対象事業終了後、淡海ネットワークセンターが定める期日までに、次の報告書類を提出していただきます。

1. 事業報告書、会計報告書（所定の様式）
2. 助成事業の実施状況を示す写真、資料等
3. 未来ファンドおうみから助成を受けている旨を表示した印刷物等、写真等
4. 領収書のコピー

※詳しくは、助成決定後のオリエンテーションでお渡しする手引きに従ってください。

(5) 助成金の返還等

次の場合は、助成金の全部または一部を返還していただきます。

1. 助成金を、対象事業以外または対象経費以外に使用したとき
2. 助成期間終了後の提出書類を提出しなかったとき
3. 助成した事業が中止、あるいは助成期間終了後、使っていない助成金があるとき
4. 申請書提出時の計画から申請事業が大幅に変更され、助成決定の主旨とかけ離れたとき
5. 出席が義務付けられているオリエンテーションと中間報告・相談会、成果発表会を正当な理由なく欠席したとき

(6) 個人情報の取り扱い

ご記入いただいた個人情報は、当財団の事業以外には使用しません。

(7) その他

1. 助成事業で作成するチラシ、ポスター、情報誌、報告書などの印刷物には、必ず未来ファンドおうみから助成を受けている旨と、指定のロゴを掲載してください。
(ロゴデータについては、ホームページよりダウンロード可能です。)
2. 淡海ネットワークセンターは、助成団体に当センターが実施する講座への案内や、他団体の活動紹介などの情報提供をおこなっています。また、事業の実施、広報、組織運営、会計などの相談(無料)も随時受け付けていますので、気軽に利用してください。さらに、組織マネジメントについての専門的な助言や指導が必要な場合は、アドバイザーの派遣を支援します。(この場合は、利用団体に費用の一部を負担していただきます。)このように、淡海ネットワークセンターの助成事業は、助成金(お金)による支援だけではなく、多面的なサポートをおこなうところが大きな特徴となっています。

5. 各基金の説明

① びわこ市民活動応援基金

「びわこ市民活動応援基金」は、ボランティアや市民活動の支援を目的に、株式会社関西みらい銀行（旧株式会社びわこ銀行）と社員の皆さまからの寄付金により 2010 年に設立されました。これまで、地域の多くの市民やボランティアが関わる活動などへ助成を行ってきました。

この基金は【地域活性化事業】と【先駆的事業】の2種類があります。

びわこ市民活動応援基金（地域活性化事業）

<助成対象事業>

多くの人々に恩恵をもたらすような「**公益性の高い事業**」、あるいは地域のニーズに基づいた「**地域の活性化につながる事業**」が対象です。

< 助 成 額 > 30 万円以内

<採択予定団体数> 数件程度

< 選 考 > 一次審査（書類審査）、二次審査（公開プレゼン）

びわこ市民活動応援基金（先駆的事業）

<助成対象事業>

他団体のモデルとなるような、地域社会の課題解決のための「**より独創的・先駆的な事業**」、あるいはそのような事業の実施を目的とした「**組織力の強化のための事業**」が対象です。

< 助 成 額 > 100 万円以内（**対象経費の 3/4 以内**）

<採択予定団体数> 1 件程度

< 選 考 > 一次審査（書類審査）、二次審査（公開プレゼン）

※びわこ市民活動応援基金（先駆的事業）への申請については、事前説明会の出席が必須となります。また、通常の申請書に加えて中期計画（申請書様式 P6）の提出が必要になります。

② びわ湖の日基金

「びわ湖の日基金」は、2011年にびわ湖の日30周年を記念して、琵琶湖と琵琶湖につながる河川や森林などの保全に関わる市民による実践活動や調査活動、環境学習活動などの支援を目的に開設されました。

<助成対象事業>

琵琶湖と琵琶湖につながる河川や森林などの保全に関わる実践活動や調査活動、環境学習活動などで、今後も継続することが期待できる取り組みが対象です。

※ただし、びわ湖の日一斉清掃関連の活動は除外します。

< 助 成 額 > 30万円以内

<採択予定団体数> 数件程度

< 選 考 > 一次審査（書類審査）、二次審査（公開プレゼン）

ご寄付いただいた皆さま（敬称略）

（株）いのうえ、抱きしめてBIWAKO実行委員会、（有）とも栄菓舗、（株）ヌーベルムラチ、（一社）比良里山クラブ、真田かずこ、（有）豆藤、（株）ロハス長浜、滋賀自然環境保全・学習ネットワーク、びわ湖ボートレース場内募金、近江通商（株）、循環型社会創造研究所「えこら」、びわ湖りす森倶楽部、びわ湖チャリティ100km歩行大会実行委員会、合同会社バンクトゥ、（有）ノリアキ工房、琵琶湖汽船（株）、（株）山正、ハヤミエ産（株）、（株）メリーゲートホールディングス、（株）タナカヤ、匿名個人3件（2022年9月現在）

③ 積水化成品基金

「積水化成品基金」は、琵琶湖や河川、森林の生物多様性保全活動の支援を目的に、積水化成品工業株式会社からの寄付により2012年に設立されました。市民による環境保全活動の充実をめざし助成を行います。また積水化成品グループ社員もボランティア活動として助成団体の活動に参加することにより、地域社会へ貢献しています。

<助成対象事業>

市民による環境保全活動の充実をめざし、年間をととして継続的におこなわれる活動で、かつ積水化成品グループ社員も社会貢献活動としてボランティア参加できる活動を対象とします。

※甲賀市、湖南市、草津市、守山市、栗東市、野洲市を含む湖南地域で行われる取り組みを優先します。

< 助 成 額 > 20万円以内

<採択予定団体数> 数件程度

< 選 考 > 一次審査（書類審査）のみ

※二次審査（公開プレゼン）を求める場合があります。

④ 笑顔あふれるコープしが基金

「笑顔あふれるコープしが基金」は、生活協同組合コープしがの創立 20 周年を記念して 2013 年に設立されました。「今を生きる私たちが、未来にも笑顔がある暮らしを残せるように、できることを一緒にすすめていきましょう」という想いの実現をめざす活動を支援することを目的としています。

<助成対象事業>

地域の高齢者の居場所づくりや見守り活動、子育てや食育など、身近な問題への取り組みによって、**私たちのよりよい暮らしにつながる活動**が対象です。

※始めたばかりの活動、またこれから始める活動を優先します。(ただし、すでに組織ができていることの確認がとれることが条件となります。)

< 助 成 額 > 10 万円以内

<採択予定団体数> 数件程度

< 選 考 > 一次審査(書類審査)のみ

※申請内容について、問い合わせをさせていただく場合があります。

⑤ ナカザワNEOフレンドシップ基金

「ナカザワNEOフレンドシップ基金」は、多文化共生の地域づくりが滋賀県下に一層展開していくことを目的に、株式会社ナカザワのアジア(ベトナム・中国・カンボジア)への海外店舗オープンを記念して 2014 年に設立されました。

<助成対象事業>

多文化共生の地域づくりをめざした、「子ども・教育」、「日本語学習支援」、「意識啓発・地域コミュニティづくり」などの活動が対象です。

< 助 成 額 > 10 万円以内

<採択予定団体数> 数件程度

< 選 考 > 一次審査(書類審査)のみ

※申請内容について、問い合わせをさせていただく場合があります。

⑥ げんさん食育NPO基金

「げんさん食育 NPO 基金」は、障がいのある子どもたちが健やかに成長していくことを目的に、元三フード株式会社の創業 110 周年を記念して 2015 年に設立されました。

<助成対象事業>

障がいのある子どもや若者たちが健やかに成長・自立していくことを、食育などを通じて地域とともに応援していく活動が対象です。

< 助 成 額 > 10 万円以内

<採択予定団体数> 数件程度

< 選 考 > 一次審査(書類審査)のみ

※申請内容について、問い合わせをさせていただく場合があります。

⑦ 湖国文学活動応援むらさき基金

「湖国文学活動応援むらさき基金」は、紫式部の大著「源氏物語」の研究と語り部活動にたずさわってこられた発案者のご家族からの寄付を受けて、湖国に因む文学に関わる活動、あるいは湖国に根ざす文学的な活動を支援することを目的に、2015 年に設立されました。

<助成対象事業>

文学を介してこころ豊かな地域づくりを目指している、「**湖国に因む文学に関わる活動**」や「**湖国に根ざす文学的な活動**」が対象です。

< 助 成 額 > 10 万円以内

<採択予定団体数> 数件程度

< 選 考 > 一次審査(書類審査)のみ

※申請内容について、問い合わせをさせていただく場合があります。

< そ の 他 > 採択された団体には、助成の成果をみせていただくために、2024 年度と 2025 年度の活動概要がわかる報告書の提供をお願いします。

⑧ びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金

「びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金」は、発案者が「近くの山の木で家をつくる運動」に関わってきたことに由来し、「湖国文学活動応援むらさき基金」の対となる基金として 2017 年に設立されました。この基金は、近江の母なる琵琶湖の保全をめざし、水源地である周辺の山々の森を守るために、主にその人工林の木を対象にした様々な「木遣い」の活動を支援することを目的としています。

<助成対象事業>

びわ湖源流の森の木を主な対象にした「新しい産物や製品の創出」、「木を使う仕組みづくり」、「木を使う大事さの啓発」、「地元の木を活かした特色ある家づくり」、「地元の木の新しい活用方法の創案」などの取り組みが対象です。

助成対象としては、①既存の団体による「新規の企画事業」と②「事業拡大を目的とした事業」があります。

①新規の企画事業

※主には 2022 年度以前に結成された団体を対象としますが、新規の団体のスタートアップ事業も含まれます。

< 助 成 額 > 10 万円以内

<採択予定団体数> 数件程度

< 選 考 > 一次審査（書類審査）のみ

※申請内容について、問い合わせをさせていただく場合があります。

< そ の 他 > 採択された団体には、助成の成果をみせていただくために、2024 年度と 2025 年度の活動概要がわかる報告書の提供をお願いします。

②事業拡大を目的とした事業

※原則、過去に①の助成を受けられた団体に限ります。ただし、①の助成を受けていなくても、②の事業に相応しくかつ緊急性があると運営委員会が認めた場合は採択される場合があります。

< 助 成 額 > 30 万円以内

<採択予定団体数> 数件程度

< 選 考 > 一次審査（書類審査）、二次審査（公開プレゼン）

< そ の 他 > 採択された団体には、助成の成果をみせていただくために、2024 年度と 2025 年度の活動概要がわかる報告書の提供をお願いします。

2023 年度 未来ファンドおうみ 事前説明会 & 申請書の書き方講座のご案内

大津会場	2022 年 12 月 3 日(土)	10:00 ~ 11:30	淡海ネットワークセンター (ふらっとルーム)
米原会場	12 月 9 日(金)	10:30 ~ 12:00	米原公民館 3B 研修室
水口会場	12 月 9 日(金)	14:30 ~ 16:00	水口中央公民館 視聴覚室
オンライン	12 月 7 日(水)	13:30 ~ 15:00	ZOOM
オンライン	12 月 10 日(土)	10:00 ~ 11:30	ZOOM

※ 必ず事前にご予約ください。個別相談(オンライン可)も承ります。

※ びわこ市民活動応援基金(先駆的事業)は事前説明会の出席を必須とします。その他の基金については任意ですが、できるだけ事前説明会もしくは個別相談を受けることをおすすめします。

※ 新型コロナウイルスの状況によっては、オンライン(Zoom)開催に変更する可能性があります。

【事前説明会への申し込み】

説明会への参加を希望される方は、前日までに、下記申込 QR またはメール(office@ohmi-net.com)

※参加日 ②お名前 ③所属 ④連絡先電話番号 ⑤お住まいの市町 を明記)またはお電話(077-524-8440)にてお申し込みください。

説明会申込



申請書ダウンロード



Ohmi Network Center

淡海ネットワークセンター

公益財団法人 淡海文化振興財団

520-0801 大津市におの浜 1-1-20 ピアザ淡海 2F

TEL:077-524-8440

FAX:077-524-8442

E-mail:office@ohmi-net.com ホームページ:<https://www.ohmi-net.com/>